

# 市指定文化財 ツキイゲ

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

アサガオやヒマワリのように色鮮やかな色彩の花弁を持たないイネ科植物ツキイゲは、西之表市の文化財に指定されている植物です。



## 場所

←百合砂苑入口に立つ案内板あたりから上西小学校入口までの海岸沿いに広がっています。

花里浜海岸沿いの案内板



## 特徴

夏になると、稲の花のように目立たない花が咲く。雄株の花粉（←）が放射状の雌株（↓）の中心部の根元付近に付いて受粉する。



受粉後に生長した雌花は、まるでウニのような形（→）になり、根元から外れる。（↓）



大花里 →  
池之久保 →



茎は海岸の地表を這って枝分かれしながら大きな集団を作る。先端は（↑）尖っていて、少し立ち上がる。

外れた花は実を付けたまま砂の上に落ちる。あとは風まかせで、転がった先で根を生やして子孫を増やす。（↓）

## なぜ市の文化財に？

ツキイゲは海外では中国南部、台湾、インドネシアに分布し、日本では種子島が北限の植物です。上西大花里・池之久保の海岸沿いに広く群生しています。



参考；フリー百科事典『ウィキペディア』